

# プロジェクト科目 議事録

2007年 12月 2日提出

プロジェクト科目 テーマ名 小学生のための能楽入門プログラムの開発と研究	
記録者氏名 B	学生 ID -
日時	2006年 11月 30日 (木) 16:30 ~ 17:50
場所	同志社小学校 会議室
議題 第2回WSの企画内容についてのプレゼンと、アリーナ（体育館）の下見	
参加者 能プロ側：B、E、H 小学校側：学務幹事、3-A担任、3-B担任、3-B副担任	
記録 <p>《当日の流れ》</p> <p>1、第2回WSの企画内容についてのプレゼン</p> <p>2、アリーナの下見</p> <p>1、第2回WSの企画内容についてのプレゼン</p> <p>企画内容についてのプレゼンを、Bが行った。先生方からの質問に対しては、3人が各自分かる範囲で対応した。</p> <p>○ 内容について</p> <p>特に問題はなかった。ただ、現時点で不明瞭な点について先生方から指摘を受けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「観察」では、児童はただ見るだけなのか、ある程度見るポイントが提示されるのか？ →能楽師に任せるが、1人が舞い、1人が説明するという形にするので、児童にも分かりやすいだろう。(E回答)</li> <li>・ 「報告会」の形式は？ →現時点では15人一度に報告する形を考えているが、グループをいくつかに分け、それぞれ違う動きを報告することも考えられる。(E回答)</li> <li>・ プログラム中(「観察」や「座談会」)は、児童にメモを取らせるか？ →第1回WSでは、配布したプリントを持って余している印象を受けたため、今回はじっくり集中して見てもらうために、メモなどは考えていない。(E回答)</li> </ul>	

○ 確認事項について

以下、企画書に記載した小学校に対する確認事項と、それに対する回答である。

- ・ 児童を座らせる場合、敷物を用意し、その上に正座してもらうことは可能か。  
→敷物について、ござ等は準備が大変かつ座りにくいのではないかという意見があり、体育に使うマット(跳び箱やマット運動の際に使われる比較的小さめのもの)と、それよりも大きめのものをそれぞれ16枚程度借りることになった。  
☆ しかし、「仕舞鑑賞」以降のプログラムを行う際、それらのマットをどのようにして片付けるのか、保護者の座席はどうするのか、という問題が残った。
  
- ・ 今回のWSの目標のひとつが、児童と能楽師の双方向的コミュニケーションの実現である。そのために前回と同じ能楽師に来てもらうので、児童にはぜひ、前回と同じ流儀を体験してほしい。クラス混合になってしまうが、児童を7月のWSと同じ流儀ごとに分けることは可能か。  
→可能である。
  
- ・ グループ分けの名簿を事前にいただけるか(能楽師が指導をスムーズに行うためにも、前もって児童の名簿をいただきたい)。  
→承諾された。
  
- ・ 当日の児童の服装は、体操服と靴下でお願いしたい。  
→承諾された。
  
- ・ 第1回WSで使用した扇について、どれくらいの児童が保管してくれているか(保管している数により、不足分を補充するか、あらたに全員分を購入するのか検討したい)。  
→先生方も把握できていなかったため、確認して下さるとのこと。

○ 小学校からの要望と意見

- ・ 閉会式に児童挨拶を盛り込んで欲しい。
- ・ 閉会式の時間は多少押ししても構わないので、児童が能楽師にお礼を言う時間を作って欲しい。
- ・ 当日の訪問者名簿を事前に提出して欲しい。
- ・ 第1回WSの様子を撮影した映像も併せて、WS全体の映像の編集済みDVDが欲しい。
- ・ 第1回WS同様、何らかの形で児童に感想を書かせる予定はあるか?(回答は保留)
- ・ 児童はWSを心待ちにしているが、これで終わりか?第3回WSの予定はあるのか?(これで終了であると伝えた)

## ○ その他

- ・ 当日午前中から準備でアリーナを使用することは可能である。
- ・ 控え室は能楽師が和室、メンバー・協力者は家庭科室をお借りすることになった。
- ・ 能楽師の分の昼食は、用意していただけるか学務幹事の確認待ち。
- ・ 関係者が自動車で来校する場合は、高校と小学校の間の空き地に駐車することが可能である。(事前連絡が必要)

## ☆ 事前学習プリントとポスターの持参日について

12月の中旬(13～19日辺り)を打診したところ、18日以降は個人面談があり小学校側が多忙であるので、それ以前の13～15日のいずれかを提案された。また、そうすれば個人面談の時に保護者にもポスターを見ていただける。

⇒ 具体的な日時については、決定次第Dから連絡すると伝えた。

## 2、アリーナの下見

企画会議後、今回のWSの実施場所であるアリーナにおける照明設備等を下見した。以下参考になりそうな事項を箇条書きで記す。

- ・ 能楽師が仕舞を舞うのに十分な広さがあることを確認した。舞台の設置については、同志社タイムを参考に出来そうである。
- ・ 当日の使用機材について、現時点ではスポットライトのみ要請した。
- ・ 照明設備について、アリーナの舞台に向かって縦方向に一つずつの照明操作である上、主な照明に水銀灯を使用している。水銀灯は完全につくまで時間がかかるため、アリーナ全体の照明を完全に落とすという操作は控えた方が良いのではないかとと思われる。ただ、フェーダーで光量を調節可能な照明も水銀灯とほぼ同数が同位置についているため、多少の明暗の調節は可能だろう。

その他、会議中に提案されたマットについてもその大きさと枚数を確認した。